

導入後の取り組み重要

有料化導入後の取り組みこそが重要」と語る山谷教授

全国自治体の産業物行政に精通している山谷教授は、東京都内特別区や多摩地区の自治体のごみ減量化の取り組みや、有料化した自治体の導入後のごみ排出量の動向を紹介しながら、ごみ有料化の意義や導入プロセスのあるべき姿について述べた。



ごみ有料化の意義について山谷教授は、ごみ減量・リサイクル推進への動機付けができる。負担の公平性を確保できる。有料化導入後の取り組みこそが重要」と語る山谷教授

北上市と市公衆衛生組合連合会主催の講演会「ごみ減量と家庭ごみ手数料化を考える」(市)ごみ減量市民会議(主催)は31日、山崎隆作東洋大学経済学部の教授を講師に迎え、同市本石町の三本現代詩歌文芸館で開かれた。集まった約100人の市民が、山谷教授による「手数料水準が適正で、回収率を高める。北上市のごみ有料化の制度設計は良い」と述べた一方で、有料化後のごみ減量効果持続策や不法投棄防止策などの取り組みが重要と指摘した。

家庭ごみ有料化

市の制度設計に太鼓判

北上市山谷氏(東洋大)が講演

と、排出量に応じた受取金額を伴う有料化が公平性の確保、税負担の公平性確保の観点から有効性を指摘した。

また、同教授は有料化制度設計のポイントとして、住民意向の反映や減量効果の持続、市民に過度な負担とならない制度設計、効率性の追求、公平性の確保、適正な水準の確保、導入に際しては不法投棄・不適正排出対策の強化と、手数料収入の用途



きたかみ
岩手日日新聞社
北上市支社
北上市券町9の5
電話 0197-051-3447
FAX 0197-051-1589
岩手日日新聞社200
http://www.asahi.co.jp

年間365日中
363日
オープン
花北日産

男子マラソンで世界新記録
大槻玄沢の子孫ら史跡巡り
江刺路で国際交流マラソン
いものこまつりにきわむ